

## アフリカで大発生するサバクトビバッタ

前野ウルド浩太郎 氏

(京都大学白眉センター 特定助教)

日時：2014年11月1日(土) 15:00~17:00頃

会場：明治大学生田キャンパス 中央校舎メディアホール

アフリカで大発生するサバクトビバッタは農作物を食い荒し、人類は度々危機に直面してきました。本種は砂漠という過酷な環境に生息していますが、なぜ彼らは天地を埋め尽くすほど大発生できるのでしょうか。それは、本種が「相変異」と呼ばれる姿形に行動などを激変させる特殊な適応能力を秘めているからに他なりません。これまで相変異を理解することができれば、バッタの大発生を阻止することも夢ではないと考えられてきました。しかし、生息地での生態調査がほとんど行われていないため、未だに相変異は謎に包まれています。前野ウルド浩太郎氏 (<http://d.hatena.ne.jp/otokomaeno/>) は、相変異の謎を解き天災として恐れられているバッタ問題を解決すべく、本種の発生源として重要な西アフリカのモーリタニアに渡り研究を行ってきました。今回のセミナーでは、サハラ砂漠でのフィールドワークの様態を交えながら、サバクトビバッタの相変異と現地における防除の取り組みを紹介して頂きます。ただいま大活躍中、大人気の研究者による熱いトークを、是非お楽しみ下さい！

問い合わせ：農学部 応用昆虫学研究室 糸山 享